



ら ぶ っ く
La・BOOK

1月号

No.79

新年あけましておめでとうございます。
今年も どうぞご利用をお願いします。



豊科図書館 1月児童特集

**あなたの見る夢、
どんな夢？**

新たな年、亥年2019年が明けました。
NHK「日本人のおなまえっ！」では「いつ見る夢が初夢か？」について放送していました。
江戸時代から「元日に見る夢」「2日に見る夢」「新年最初に見る夢」と諸説あり、現代でも結論は出ていないようです。広辞苑には「古くには、節分の夜から立春の明けがたに見る夢」とも載っています。

子どもたちは、どんな夢を見たのでしょうか。そして、これからどんな夢を見るのでしょうか？大きく膨らむ子どもたちの「夢」に関わる本を揃えてみました。どうぞ！手に取ってみて下さい。



三郷図書館

奮闘！調べもの日記(シファレンス)

「あの山は何て言う名前の山？」

と聞かれた三郷図書館から遥か北に見える山々。方向的には黒姫山とか妙高山かなと思ったが、そんな遠くの山が三郷から見えるのか？……調べてみました。



三郷図書館からの全体写真の中央で一番目立っているのは戸隠連峰の山々です。一番高いのが連峰最高峰で深田久弥の日本百名山の一つで新潟県境にある高妻山(2353m)、その左が乙妻山(2318m)、西岳等です。全体写真で、右側の車庫屋根の左にある二こぶ山(生坂村の大城と京ヶ倉)部分を拡大しました。二こぶの上、かすかに見えるのが複式火山で越後富士とも称され、こちらも日本百名山の一つである新潟県の妙高山(2454m)の頂き(点線部分)です。全体写真左の雪をかぶった山は、La・BOOK(H28,6月号)で紹介され、最近では2年前に小噴火した活火山である新潟県の焼山(2400m)です。

長野県の北部県境にある山、更に遠い新潟県の山が安曇野市から見えるなんて不思議な感じがします。いつの日かこれらの山の頂上から安曇野を眺めてみたいものです。

〈関係資料〉

- 『北陸新幹線沿線百名山』 信濃毎日新聞社 2015年
- 『日本百名山』 深田久弥/新潮社 2015年
- 『素晴らしき山々』 松下正信/山と溪谷社 2018年

12月貸出ランキング

一般書

- 1 下町ロケット〔4〕／池井戸潤
- 2 ラプラスの魔女／東野圭吾
- 3 コンビニ人間／村田沙耶香
- 〃 下町ロケット〔3〕／池井戸潤
- 〃 マスカレード・ナイト／東野圭吾
- 6 沈黙のパレード／東野圭吾
- 7 その心をいじめないで／中村美幸
- 8 虚ろな十字架／東野圭吾
- 〃 コーヒーが冷めないうちに／川口俊和
- 〃 人魚の眠る家／東野圭吾
- 〃 火花／又吉直樹

児童書

- 1 サンタクロースと小人たち／マウリ＝クンナス
- 2 さんねんないきもの事典〔正〕／今泉忠明
- 〃 のりものつみき／よねづゆうすけ
- 4 さんねんないきもの事典 続／今泉忠明
- 〃 しろくまちゃんぱんかいに／わかやまけん
- 〃 それしかないわけないでしょう／ヨシタケシンスケ
- 〃 ねずみくんのクリスマス／なかえよしを
- 8 アンパンマンのサンタクロース／やなせたかし
- 〃 かいけつゾロリのちていたんけん／原ゆたか 他多数

AV資料

- 1 崖の上のポニョ／宮崎駿監督
- 2 WEDNESDAY～LOVE SONG BEST OF YUTAKA OZAKI／尾崎豊
- 〃 ALL SINGLES BEST／コブクロ
- 〃 借りぐらしのアリエッティ／米林宏昌監督
- 〃 岳／片山修監督
- 〃 コクリコ坂から／宮崎吾朗監督



堀金図書館から

本のソムリエ(司書)おすすめ本

一般書

『こうしてイギリスから熊がいなくなりました』

ミック・ジャクソン/東京創元社

表紙

イギリスで熊がなぜ絶滅したのでしょうか。その理由は、熊の狩猟等に深い歴史があるようです。この作品は、寓話的な8つの熊の短編でなっています。

動物愛護を訴える国と相反する側面をもつ歴史が存在していたイギリス、まるで絶滅した熊に対する祈りが漂う小説です。

動物愛護を訴える国と相反する側面をもつ歴史が存在していたイギリス、まるで絶滅した熊に対する祈りが漂う小説です。

児童書

『大名行列』

シゲリカツヒコ作/小学館

表紙

「したに一、したにっ！」の声を響かせて進む、いかめしいお侍さんたちの大名行列、しかし、巨大な馬やりヤカーを引いた焼きいも屋さん、お化けや宇宙人まで現れて…!?このおかしな一行はどこから

やってきて、どうなってしまうのでしょうか？細かいところまで描きこまれ、見ているだけで飽きない絵をお楽しみください！

私と図書館

「日日は好日」

初谷大子

「今日はどんな本と出会えるかな」と入口を足早に入って、絵本の棚にまっしぐら。

一冊二冊と読み進んでいくうちに、物語の世界に引き入れられていく。気づけば一時間ほどが過ぎていて、ふーっと一息入れ外を見る。桜がハラハラと舞い落ちたり、ひまわりがスツと立っていたり、木々が真っ赤に染まっていたり、雪がシンシンと積もっていたりする。どの日もいい、ゆったり流れていくこの時間がいい。

ふと気づくと、横で夢中で絵本をのぞき込んでいる子どもがいたりする。「どんな世界に出かけているのかな？」目がキラキラしていて眩しい。

もう少し時間がある、もう一冊と本を探す。今日も良い一日となった。図書館は自分を取り戻す大切な場所。

図書館は自分を取り戻す大切な場所。



編集・発行・お問い合わせ



- | | |
|-------|----------|
| 中央図書館 | ☎84-0111 |
| 豊科図書館 | ☎71-4022 |
| 三郷図書館 | ☎76-3078 |
| 堀金図書館 | ☎72-3601 |
| 明科図書館 | ☎62-1122 |

図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます)
<http://www.city.azumino.nagano.jp/site/tosho>

※編集後記※

元日の信毎「斜面」に、栄村の「食」の価値を見直し、発信する活動が紹介されていました。その活動で出会った70代女性の言葉が忘れられないそうです。「冬はかけがえのない時間だ。好きな読書ができる」。豊かに生きる知恵を感じたといいます。郷土の食文化に関する書架には、人が生きていく知恵や技がたくさん詰まっています。